

令和7年度

在宅緩和ケアを支える多職種のための 「緩和ケア」フォローアップ研修 (地域医療連携事業講演会)

がん患者と障害年金 ～安心して在宅療養が送れるには～

抗がん剤の進歩とともに、かつて死の病といわれた癌も治療が可能となり、5年生存率は上昇しています。がん患者さんの多くは、抗がん剤の治療を継続しながら自宅で過ごしています。中には仕事を継続している人も多くいます。

しかし、通常勤務が必ずしも行えるわけではなく、治療後の数日間は副作用の影響で休暇や時間調整を行っている方がいます。そうすると、給与水準も低下することがあり、場合によっては離職に追い込まれることもあります。医療費3割負担で限度額は設定されているものの、金銭的には困窮されている方がいます。

がんの痛みについては、身体的苦痛、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインの4つがあると言われています。身体的苦痛は病院での治療が行われますし、精神的なケアもある程度専門職種になされています。ところが、社会的苦痛について医療者が行えることには限界があり、その中でも経済的な問題「お金」については、生活を送るにあたり重要な要素ですが、残念ながら医療者は適切なアドバイスが出来ません。

今回、障害年金に焦点を当て、制度の概要や、患者さんへのアドバイスポイントをお伝えしたいと思っています。

まずは医療者が感じ関心を持つことが大切です。具体的な話は、社労士などの専門家につなげるとしても、存在を知らなければアドバイスも出来ません。

今回の研修を通じて、患者さん・家族の経済的な悩みに対し、少しでも相談に乗れるようになっていただけたらと思っています。

【講師紹介】 太田 敦 (おおた あつし) 先生

医療法人あおい空 おおた在宅クリニック 院長

一般企業で総務・経理関係の仕事に12年勤務後、38歳で徳島大学医学部入学。

卒業後は、徳島健生病院で初期研修後、京都家庭医療学センター、岡山家庭医療センターで家庭医後期研修。松山のたんぽぽクリニックで在宅医療を学び、2018年徳島市吉野本町にて、おおた在宅クリニック開業。2023年あおい空社会保険労務士事務所を開設し、主に在宅患者に対して障害年金申請業務を行っている。



令和7年 **10月21日(火)**

18:30～20:00 (受付 18:00～)

参加無料

▶ 申込方法 ▶

Google form
による申し込み

締め切り10月14日(火)



会場：徳島県立中央病院 3階 講堂 定員：100名

問い合わせ先：徳島県立中央病院 野口・有馬 TEL.088-631-7151

主催：徳島県立中央病院 がん診療支援センター 緩和ケアセンター 患者支援センター
徳島がん対策センター (在宅緩和ケア支援事業)